

第2次岩国市観光ビジョンに対するパブリックコメントについて

令和7年10月27日から令和7年11月28日まで、市民の皆様からご意見（パブリックコメント）を募集した結果、次のとおり提出がありました。

- ・提出者数 3人
- ・意見の総数 83件

提出されたご意見と、そのご意見に対する市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
1	-	<p>第2次観光ビジョン（案）の資料に一通り目を通して感じた事。過去に行った集会（会合？）で出た意見を取りまとめて、多数意見を重点に進める内容となっており、せっかくここまで収集・掲載したデータが全く活用されていないのはもったいないと思う。</p> <p>また、実績数値はあれど、目標の数値が示されないのも疑問。それぞれの取り組みに対して、いつまでにどれだけの成果（例えば 来客数や売上など）を目標とするのかが無い為今までも案が出ておしまいになってしまう。立案・実施後の経過報告や目標の達成可否などの報告・反省会をして次に生かすべきでは無いでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
2	-	<p>次に観光地としての基本である【インフラ】について。公開されている資料の12ページ③公共交通の現状の項ですが冒頭からの文章だけ読むといかにも要所に駅や拠点がありスムーズ円滑に市内を網羅しているかのように感じますが、物理的に存在するだけで時間的な要素を考えると上手くアクセス出来ているとは到底言えない。さらにはそれぞれの要所（岩国駅・新岩国駅・空港など）に降り立った観光客に対して、観光地に対する【目立った】【案内】が【無い！】のはおかしいのでは色々応用を考える前に基本が出来ていないと思う。まず基本的な部分の整備を充実してほしい。観光客目線となって駅や空港から【錦帯橋】に行こうと思った時、【錦帯橋はこちらです】など観光地への交通案内の大きい看板が有って然るべきと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
3	-	<p>最後に夜の観光についてです。せめて夜景スポットとして、お城山ロープウェイの夜間運行が有れば夜の観光に繋がると思います。夜景にライトアップされている山城も国内では珍しいので夜に上ってみたいと言う観光客は少なくない。また、宿泊客の多くは夕刻以降に到着して翌朝別観光地に行くケースが多く。9時からでは間に合わないと言われる事も多い。多少でも早朝や夜間時間に観光施設利用できるとその分利用客は増えるのでは？と思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
4	-	<p>消費拡大に効果の高いコンテンツの整備について、国土交通省公表の第4次観光立国推進基本計画においては、消費拡大に効果の高いコンテンツの整備として、アドベンチャーツーリズムの推進に加えて「アート・文化芸術コンテンツの整備(国際的な芸術祭の活用、マンガ・アニメ・映画等を始めとするメディア芸術)」があげら</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
		<p>れている。全国的には国際芸術祭が滞在型観光地化の一翼を担っている例もあり、当地においても観光ビジョンにそのような施策を織り込んでいかないと考える。幸い近隣地域には先般「世界で最も美しい美術館」に選出された下瀬美術館を始め連携可能性のあるアート関連観光スポットも点在しており消費拡大の可能性は見込めるものとする。また、当地においてアーティストを育てる拠点を設けるなか観光地化(聖地化)することも併せて意見致したい。</p>	
5	-	<p>観光に係るハード面の整備について、宿泊施設や医療機関と連携し、徹底したバリアフリー化等進めるなか健康状態に不安のある高齢者を観光客として受け入れられるようにする。国土交通省が公開している令和7年版観光白書によると、国内旅行をする日本人のうち47.3%が家族と旅行をしており、高齢者の参加がハードルにならない環境を作ることで、より多くの観光客数増加を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
6	-	<p>所管課は、この素案の文章を確り精査してからパブリックコメントに出してほしい。あまりにも文章が稚拙でスムーズに読めない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
7	-	<p>このビジョン全般を通して、「観光コンテンツの魅力向上」とは、「駐車場や公衆トイレ、ゴミ箱の設置など」という印象を強く受ける。このようなハードの整備を繰り返し説明するのではなく、岩国市の歴史、伝統等のソフトの魅力を確認し直してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
8	-	<p>このビジョン策定前に、「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」が重要文化的景観として選定され、また「歴史的風致維持向上計画」が認定されている。</p> <p>しかし、残念なことに、このビジョンでは、それらの内容について一言も触れていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
9	-	<p>このビジョンの年次の表現について、「第3次岩国市総合計画」や「新たな観光県やまぐち創造プラン」との整合性を図る意味でも、西暦(和暦)にすべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、西暦(和暦)で統一します。</li> </ul>
10	P1	<p>「岩国市では、観光の目指すべき方向性を定め、多様な観光ニーズに対応する観光振興の推進を図るため、平成27年に「岩国市観光ビジョン」(計画期間：平成27年度～令和4年度までの8年間)を策定し、本市の観光の担い手となるすべての人の共通のビジョンとしての役割を担ってきました。」の文章は構文上適切ではない。</p> <p>簡潔にすると、「岩国市では、(中略)「岩国市観光ビジョン」を策定し、(中略)共通のビジョンとしての役割を担ってきました」となり、「策定し」の主語は「岩国市」、「役割を担ってきました」の主語も「岩国市」となる。「役割を担ってきました」の主語は、「観光ビジョン」になるように修正する必要がある。したがって、「岩国市では(中略)「岩国市観光ビジョン」を策定し、それが本市の観光の担い手となるすべての人の共通のビジョンとしての役割を担ってきました。」と修正すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。</li> </ul> <p>「岩国市では、観光の目指すべき方向性を定め、多様な観光ニーズに対応する観光振興の推進を図るため、2015(平成27)年に「岩国市観光ビジョン」(計画期間：2015(平成27)年度～2022(令和4)年度までの8年間)を策定しました。このビジョンは、本市の観光の担い手となるすべての人の共通のビジョンとしての役割を担ってきました。」</p>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
11	P 1	<p>「しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光を取り巻く環境は大きく変化したところ。」という一文はこのビジョンを最悪のものにしている。「しかしながら」は、前文と対照的または逆の事実を述べる際に使う接続詞であるから、この接続詞はコンテキストからして使うべきではない。</p> <p>また、「新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光を取り巻く環境は大きく変化したところ。」とあるが、現状は新型コロナウイルス感染症の発症以前の状態に戻りつつある。新型コロナウイルス感染症がもたらした課題は、今後のパンデミックに対してレジリエントな社会を構築することである。</p> <p>また、「新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光を取り巻く環境は大きく変化したところ。」とあるが、「第2章 岩国市の観光振興における課題」では、「本市の観光を取り巻く環境は大きく変化したところ」については全くと言っていいほど触れられていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。</li> </ul> <p>「しかしながら、新型コロナウイルス感染症により、観光地や観光産業に大きな影響を与え、本市においても、観光客数の減少や旅行形態の変化など、観光を取り巻く環境は大きく変化したところ。」</p>
12	P 1	<p>「そうしたことから、ポストコロナにおける本市の観光の目指すべき方向性を定め、その実現に向けた施策の推進を図るために「第2次岩国市観光ビジョン」を策定します。」とあるが、「ポストコロナにおける本市の観光の目指すべき方向性」がこのビジョンの主題なのか。また、市は、「ポストコロナ」をどのような社会経済情勢として捉えているのか、また「ポストコロナ」期の観光の動向、観光客のニーズの変化をどのようにみているのか、明らかにされたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。</li> </ul> <p>「そうしたことから、ポストコロナ時代における本市の観光の目指すべき方向性を定め、その実現に向けた施策の推進を図るために「第2次岩国市観光ビジョン」を策定します。」</p>
13	P 1	<p>この観光ビジョン策定の趣旨は、基本的には「錦帯橋の世界文化遺産登録を踏まえた観光振興の推進方策及びオーバーツーリズム対策」を取りまとめることである。その根拠は、以下のとおりである。</p> <p>この観光ビジョンの対象期間は、2026（令和8）年度から2035（令和17）年度までの10年間であるから、この期間中に錦帯橋が世界文化遺産暫定一覧表に記載され、政府の推薦を受けて世界文化遺産に登録される可能性が非常に高い。</p> <p>2024（令和6）年8月5日に開催された、文化庁の「文化審議会世界文化遺産部会（第4回）」における「議題（2）世界遺産一覧表に記載されることが適当と思われる物件の候補の選定について」の議事録には「当該物件を有する自治体にヒアリングを行い、推薦準備状況の確認を行った。」という記載がある。この時、「錦帯橋」はヒアリングの対象となり、その感触がよかったことから、山口県は2025（令和7）年4月1日付けで文化振興課に「錦帯橋世界遺産推進室」を設置したと推察している。</p> <p>また、村岡知事、福田市長らは、世界遺産暫定一覧表への追加記載等を要望する要望書を、2025（令和7）年6月12日に文部科学省へ、6月13日に文化庁（京都庁舎）へ提出している。</p> <p>また、今年5月に開催された岩国吉川会の総会において、会長は、市の文化スポーツ振興部長がおられる前で、「錦帯橋の世界文化遺産暫定一覧表入りにいい感触があるようです」というようなニュアンスの文言を挨拶時に述べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
		<p>一方、日本の世界文化遺産暫定リスト記載資産には、「古都鎌倉の寺院・寺社ほか（神奈川県）」、「彦根城（滋賀県）」、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群（奈良県）」及び「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—（拡張）（岩手県）」が記載されているが、このうち「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群（奈良県）」は、来年、2026（令和8）年にも世界文化遺産に登録される見通しである。「古都鎌倉の寺院・寺社ほか（神奈川県）」は、イコモス（国際記念物遺跡会議）から「不登録」の勧告を受けて、2013年に推薦が取り下げられており、また「彦根城（滋賀県）」及び「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—（拡張）（岩手県）」については、イコモスの事前評価において評価基準を満たしていると主張する論拠が不十分とされ、政府の推薦が見送られた。彦根城は、単独での推薦が難しく、国宝の松本城、犬山城、松江城を加えた四城での推薦、登録の作業が求められるとみられる。</p> <p>以上から、現在、イコモスに推薦できる物件がないことから、「錦帯橋」には大きなチャンスがあると考えている。</p>	
14	P1	<p>「2. 岩国市観光ビジョンの位置づけ」について、最初の文章に、主語、「このビジョンは、」を入れよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、文頭に「このビジョンは、」を入れた文書に修正します。</li> </ul>
15	P1	<p>「3. 観光ビジョンの対象期間」について、これは、概要版ではないので、「このビジョンの対象期間は、2026(令和8)年度から 2035(令和17)年度までの10年間とします。」と記述しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。</li> </ul> <p>「このビジョンの対象期間は、2026(令和8)年度から 2035(令和17)年度までの10年間とします。」</p>
16	P3	<p>「① 観光客数の推移」及び文章の「観光客数」は、「日本人国内延べ旅行者数」に修正すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「観光客数」を「日本人国内延べ旅行者数」に修正します。</li> </ul>
17	P3・P5	<p>2箇所の「出典：旅行・観光消費動向調査」は、統計調査・作成機関を明示すべき。この場合、「出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」とすべき。また、5ページの「インバウンド消費動向調査」についても、統計調査・作成機関の「観光庁」を明示すべき。</p> <p>以下、図表については、統計調査・作成機関を明示すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3ページ中「出典：旅行・観光消費動向調査」を「出典：観光庁 旅行・観光消費動向調査」に修正します。</li> <li>5ページ中「インバウンド消費動向調査」を「観光庁 インバウンド消費動向調査」に修正します。</li> </ul>
18	P5	<p>「訪日外国人観光客1人当たりの旅行支出額」の概念、特に交通費の概念を明らかにしてほしい。円グラフの交通費は、2万円前後なので、居住国から我が国への入国航空運賃等は含まれていない。しかし、国際収支統計の旅行収支では、訪日外国人の居住国から国内への入国航空運賃は我が国の輸出、国内から居住国への帰国航空運賃は居住国の最終消費支出という扱いになっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「旅行支出額」は、旅行の総支出から「航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃」を除いた、「日本滞在中の支出[宿泊/飲食/交通/ 娯楽等サービス/ 買物など]」を指すと注釈を記載します。</li> </ul>
19	P6～P8	<p>「(4) 近年の観光動向」には、1ページの観光ビジョンの策定の趣旨で述べられている「新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の観光を取り巻く環境は大きく変化したところ」について考察されていない。「ポストコロナ期の観光の潮流や課題」を整理すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポストコロナにおける観光客やニーズの変化についての項目を追加します。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
20	P9～ P10	「④ 岩国市の観光資源」については、地図と写真だけで十分だと考えているのか。エリア別・季節（月）別・ジャンル別に優れた観光資源を整理してほしい。また、潜在資源としてどのようなものを評価しているのかも明らかにしてほしい。そして、それぞれの観光資源の特長と課題も明記してほしい。岩国市の観光資源の中で最も危惧されているものの一つは、錦帯橋周辺にあるサクラ、約 1,500 本の大半が老朽化していることである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
21	P11	「② 錦帯橋の世界遺産登録に向けた動向」については、「動向」という用語は適切ではない。そこは、「取組」とすべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「動向」を「取組」に修正します。</li> </ul>
22	P11	しかし、ここは、「② 錦帯橋とその周辺」という項目（タイトル）として、錦帯橋とその周辺の重要文化的景観を構成する要素について簡潔な説明をした上で近年の月別の入橋者数の推移を示すとともに、そこで展開される花見、祭事（錦帯橋祭）、伝統行事（鶺鴒、鉄砲隊等）、芸術祭等について記述すべきではないか。そして、錦帯橋の世界遺産登録に向けた取組を紹介する方が望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
23	P12	「③ 公共交通の現状」であるが、地図が小さく、かつ情報が多すぎて分かりづらい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
24	P12	空港や新幹線駅が立地しており、広域的な移動が可能になっています。」は、「(前略) 広域的な高速移動が可能(後略)」か、「(前略) 広域的な移動の利便性が高くなっています。」とすべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「広域的な移動が可能になっています。」を「広域的な移動の利便性が高くなっています。」に修正します。</li> </ul>
25	P12	また、「多くの観光客が訪れる錦帯橋へは、JR 岩国駅からバスが運行しており、二次交通としての重要な役割を担っています。」の「JR 岩国駅からバス」は、「新幹線新岩国駅及び JR 岩国駅からそれぞれバス」とすべきである。この一文の後に、「なお、岩国錦帯橋空港から錦帯橋へのバスの直行便はありません。」を追記すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。</li> </ul> <p>「多くの観光客が訪れる錦帯橋へは、新幹線新岩国駅及び JR 岩国駅からそれぞれバスが運行しており、二次交通としての重要な役割を担っています。なお、岩国錦帯橋空港から錦帯橋へのバスの直行便はありません。」</p>
26	P13	「コロナ禍に大きく減少していますが、令和 3 年度からは回復傾向になっています。」は、「コロナ禍の 2020（令和 2）年度、2021（令和 3）年度に大きく減少していますが、2022（令和 4）年度からは回復傾向がみられます。」と修正すべき。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。</li> </ul> <p>「コロナ禍の 2020（令和 2）年度、2021（令和 3）年度に大きく減少していますが、2022（令和 4）年度からは回復傾向がみられます。」</p>
27	P13～ P14	各図の輸送機関による輸送人員等については、出典が岩国市になっているが、これらは輸送機関等の業務統計であるから統計作成者の確認、修正をされたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「出展：岩国市」を「出展：岩国市地域公共交通計画データより作成」に修正します。</li> </ul>
	P15	「④ 観光業の現状」の事業所数及び従業員数について全体の実数を示すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の実数についても記載します。</li> </ul>
28	P15	また、コロナ禍の影響をみるのであれば、2016（平成 28）年の調査と比較することが必要である。その場合、各産業別の収入・売上も 2015（平成 27）年と 2020（令和 2）年の値を比較してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
29	P15	[産業分類別事業所・従業員の割合]の図の凡例は、小さくてよく分からない。大きくすべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
30	P15	次に、産業中分類「宿泊業」と産業小分類「旅行業」を大分類の「宿泊業、飲食サービス業」と「生活関連サービス業、娯楽業」に占める割合を分析する意図がよく分からない。 ここで「旅行業」とは、運送や宿泊などのサービス提供に関し、提供者または旅行者を代理して契約を締結する事業所を指し、大分類「N 生活関連サービス業、娯楽業」、中分類「79 その他の生活関連サービス業」の中の小分類の一つである、という概念も説明すべきである。 「宿泊業」は市外からの観光客等を対象として、「旅行業」は主に市民を対象として、それぞれサービスを提供していることから、この2つの合計値を分析しても意味はないと考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
31	P15	「経済センサス活動調査」は、産業連関表の作成に使われる統計である。岩国国際観光ホテルを例にとれば、産業分類上「宿泊業」に属することになるが、宿泊部門、飲食部門、物販部門ごとに従業員数、売上などが計上されることになる。この図の産業分類の「宿泊業」は、宿泊部門のみの統計で、飲食部門、物販部門などは除かれているという理解でよいか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業における宿泊業、旅行業の割合〕のグラフに、「日本標準産業分類の大分類「宿泊業・飲食サービス業」「生活関連サービス業・娯楽業」における、中分類「宿泊業」、小分類「旅行業」の割合」と注釈を記載します。</li> </ul>
32	P16	「① 岩国市の観光客数の推移」の観光客数のカウントをどのようにしているかを明らかにされたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客は、各施設の入場者などの合計から、1日で複数の施設利用者を推計で除き算出しています。</li> </ul>
	P16	また、各年次の観光客数の棒グラフに錦帯橋入橋者数の棒グラフを沿えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
33	P16	〔地域別観光客割合〕の凡例の色がよく分かるようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
34	P17	〔国別外国人観光客数〕は、「国・地域別外国人観光客数の割合」に修正し、凡例の色がよく分かるようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
35	P18	「日帰り旅行」や「日帰り観光客」の概念を明らかにすべきである。ここでの「日帰り」は属地ベースの統計、つまり岩国市内に宿泊しない旅行者、観光客を指している。属人ベースの統計、つまり旅行者、観光客は宿泊を伴う旅行や観光をしていても、岩国市内に宿泊しない人は「日帰り」扱いとなることを明記すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、〔宿泊割合〕及び〔日帰り観光客の滞在時間〕の表に、「日帰り観光客」は、「旅行行程において岩国市内に宿泊しない旅行をいう。」と注釈を記載します。</li> </ul>
36	P18	「② 利用した交通機関」の凡例もよく分かるようにしてほしい。また、交通機関の並べ方も鉄道利用者の割合が分かりやすくするために「鉄道(新幹線)」の次に「鉄道(山陽本線)」を配置し、その次に「航空機(岩国錦帯橋空港)」になるように変えてほしい。 なお、「山陽線」と「山陽本線」は、どちらかに統一すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> <li>本ビジョン中「山陽本線」に統一します。</li> </ul>
37	P21	〔岩国市での消費金額(令和6年)]の設問の選択肢はどのようになっているのか。1,000円単位で四捨五入するようにしているのか。 また、近隣市と比較できるように、岩国市の一人当たり消費金額も算出してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔岩国市での消費金額2024(令和6年)]の表に「調査では千円単位での回答を求めています。」と注釈を記載します。</li> <li>〔岩国市近隣市町の消費金額2024(令和6年)]の表に「【参考】岩国市3,459円」を追加します。</li> </ul>
38	P22～P23	図の凡例の色が分かるようにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
39	P24	「(4) 観光に関する興味度」というタイトルと分析・考察内容とは一致していない。適切な用語を使うべきである。(「① 市民の観光に関する興味度」も)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
40	P30	<p>[岩国市で訪れた・訪れる予定の場所]の選択肢「歴史的建造物」とは何か。「歴史的建造物」には錦帯橋や岩国城も含まれているので、選択肢「歴史的建造物」は、少なくとも「錦帯橋・岩国城を除く歴史的建造物」とすべきであった。</p> <p>歴史的建造物とは、機能や技術、意匠などに特徴があり、歴史的・文化的に価値の高い建築物や土木構造物のことです。建設から50年以上経過しているものが多く、時代を超えてまちの文化や景観を伝えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「歴史的建造物」を「歴史的建造物（錦帯橋を除く。）」に修正します。</li> </ul>
41	P35	「(1) 豊富な観光コンテンツ」では、このタイトルとおりの記述がなされていない。記述内容からみると、「観光客の動向」が適切である。このタイトルを使うなら、それに見合う内容に修正する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
42	P35	2024(令和6)年の観光客が255万人、その8割以上が日帰り旅行とすると、255万人の2割弱、50万人近くが宿泊旅行ということになるが、このコンテキストの修正は必要ないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
43	P35	「(2) 観光に関わる人材」の「観光事業に関わる人材不足や高齢化が進んでおり」のエビデンスを明らかにすべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
44	P35	「(3) 観光客の受入れ」の「岩国市の観光の魅力を高めるために、(中略) 駐車場や公衆トイレの整備」というくだりは、「魅力」ではなく、「利便性や快適性」に修正すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「岩国市の観光の魅力を高めるために」を「岩国市の観光の利便性や快適性を高めるために」に修正します。</li> </ul>
45	P35	最終行の「います」には、句点「。」を入れること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「います」を「います。」に修正します。</li> </ul>
46	P36	<p>P36に記載の通り岩国市の観光振興における課題は多岐に亘っているとともに従来延長線上の発想では解決できないものが多数存在しているものとする。</p> <p>課題解決に資するアイデアを有する特定の事業者を従来の入札方式等で募集し解決に結びつける方法もあるが、スタートアップ企業も含めた複数の事業者等が解決策を持ち寄るオープンイノベーション(オープンアクセラレーター等)を活用する手もあると考える。</p> <p>また、教育機関も巻き込んだ課題解決と言う点においては、大学などで観光学を学んでいる学生と岩国市、民間企業との間における共同研究などを行う中(幅広い意見を吸い上げることを通じてイノベティブな取組が生まれることも期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
47	P39	方向性①「錦帯橋周辺などの顕在資源を新たな発想で“みがく”」とあるが、「新たな発想で“みがく”」とはどのようなものなのか明示すぎです。言葉だけでタイトルに見合った文章が記述されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
48	P39	方向性②「市域の潜在資源を新たな活用で“いかす”」とあるが、どのような潜在資源をどのような新たな活用でいかすのか。言葉だけでタイトルに見合った文章が記述されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます</li> </ul>
49	P42～	「錦川の増水により使用できなくなる下河原の駐車場を段階的に移転すること」	<ul style="list-style-type: none"> <li>下河原の駐車場の段階的に移転するのは、錦川の増水時に度々利用できなくなるためです。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
	P43	とあるが、駐車場の移転の理由は「錦川の増水」か。世界文化遺産登録の障害ではないのか。	このような状況は観光客の受け入れに支障をきたすため、安定して常時利用できる駐車場を確保し、観光客の受入環境を改善することを目的としています。
50	P42～ P43	「(前略) 歴史的建築物を、主に観光客を対象とした用途で保存活用を進め、景観の保全とともに、観光客の滞在時間の延長や夜型観光の推進」とあるが、「観光客を対象とした用途で保存活用」とは具体的に何か。	・ 歴史的建造物を店舗や宿泊施設などで活用し、保存につなげていくこととしています。
51	P42～ P43	＜具体的な取組＞の表は、分かり易くするため「取組内容」を入れ、表頭の項目を「No.」「取組内容」「具体的な取組」にすべきである。	・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。
52	P42～ P43	＜具体的な取組＞及び＜イメージ＞の「▶ ゴミ箱やベンチの設置の検討」であるが、「の検討」を削除すべきではないか。簡単にできそうなものに何故「検討」を付けているのか。	・ 設置場所や維持管理など整理すべき事項が多くあることから、検討としています。
53	P42～ P43	「▶ 錦帯橋の世界文化遺産への登録」は、言葉足らずであり、「に向けたロビー活動の強化」などの文言を加筆することが必要である。	・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。
54	P42～ P43	「取組内容」では「世界遺産」、「具体的な取組」では「世界文化遺産」という用語を用いている。「世界文化遺産」に統一しよう。	・ 本ビジョン中「世界文化遺産」に統一します。
55	P42～ P43	42 ページの表「取組内容」の「3 夜型観光の促進に向けた取組」「4 錦帯橋や重要文化財、歴史的建築物の保存活用、継承」「5 錦帯橋の世界遺産登録に向けた取組」には、重点的な視点として「③体験型観光」の○印がついているが、その＜具体的な取組＞には「体験型観光」をイメージさせるものはない。これは、一体どういうことか。	・ 体験型観光については、＜具体的な取組＞の4中の「文化財の保存活用」、5中の「錦帯橋周辺の環境整備」に含まれています。
56	P42～ P43	「▶ 錦帯橋周辺地区の古民家の活用」の「(前略) 地区の賑わいの創出に取組む」の「取組む」は、公用文として使えないのではないか。 また、「取組」と「取組み」があり、どのように使い分けしているのか。	・ 動詞で使う場合は「取り組む」に、名詞で使う場合は「取組」に修正します。
57	P42～ P43	「▶ 多言語表記の充実」の「外国人観光客の受入環境」の「受入」は公用文として適切か。	・ 名詞で使う場合であり、適切と考えています。
58	P42～ P43	「▶ 多言語に対応できるガイドの育成」も重要だが、観光スポットのQRコードを読み取るだけで音声ガイドが利用できるシステムを導入すれば、多言語対応の効率的な運用が可能となり、コスト削減にもつながる。	・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。
59	P42～ P43	「岩国市観光ビジョン」を以下「前ビジョン」という。 前ビジョンでは、施策例として「○体験メニューの充実」、「○「食」資源の開発・活用」、「○岩国城の魅力向上」、「○錦帯橋周辺駐車場の整備」、「○外国人観光客の受入態勢整備」、「○米軍岩国基地との連携事業」が挙げられている。それらの成果や進捗状況、また積み残した課題を整理し、本ビジョンとの関わりを提示してもらいたい。 また、次期ビジョンの策定時には、本ビジョンの具体的な取組について、点検・評価し、公表することをお願いしたい。	・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。 ・ 前ビジョンと本ビジョンは、施策や課題などを引き継いでいるものもあります。
60	P44～	(2) 市域全体周遊促進戦略＜現状・課題＞の「(前略) 市内の他の観光地への	・ 御指摘を踏まえ、錦帯橋周辺は「回遊」に、錦帯橋から離れて他の観光地に行く場合は「周

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
	P45	回遊につながっていません」の「回遊」という用語は適切ではない。錦帯橋の周辺であれば回遊、錦帯橋から離れて他の観光地には行けば周遊という表現をした方がよい	遊」に修正します。
61	P44～ P45	観光資源の魅力・価値レベルに応じて、ターゲット	—
62	P44～ P45	前ビジョンでは、施策例として「○観光施設の魅力化事業」、「○周遊マップ・統合パンフレットの作成」、「○WEBによる情報発信の充実」、「○「食」の魅力の掘り起こし調査」が挙げられている。それらの成果や進捗状況、また積み残した課題を整理し、本ビジョンとの関わりを提示してもらいたい。 また、次期ビジョンの策定時には、本ビジョンの具体的な取組について、点検・評価し、公表することをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> <li>・ 前ビジョンと本ビジョンは、施策や課題などを引き継いでいるものもあります。</li> </ul>
63	P46～ P47	「(1) 自然の魅力活用戦略」については前ビジョンの「錦川を楽しむ」戦略を活かしてほしい。 前ビジョンでは、施策例として「○錦川清流線沿線景観整備・周辺施設整備」、「○自然体験プログラムの開発・情報発信」、「○体験型修学旅行の誘致」、「○アウトドア事業者との連携事業」が挙げられている。それらの成果や進捗状況、また積み残した課題を整理し、本ビジョンとの関わりを提示してもらいたい。 また、次期ビジョンの策定時には、本ビジョンの具体的な取組について、点検・評価し、公表することをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> <li>・ 前ビジョンと本ビジョンは、施策や課題などを引き継いでいるものもあります。</li> </ul>
64	P48～ P49	「(2) 多様な趣味・嗜好への対応戦略」については、まず前ビジョンの施策例、「○潜在資源の市場性調査」、「○各市場に向けたプロモーション」、「○市場ごとの受入環境整備」が挙げられている。それらの成果や進捗状況、また積み残した課題を整理し、本ビジョンとの関わりを提示してもらいたい。 また、次期ビジョンの策定時には、本ビジョンの具体的な取組について、点検・評価し、公表することをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> <li>・ 前ビジョンと本ビジョンは、施策や課題などを引き継いでいるものもあります。</li> </ul>
65	P48～ P49	日本酒プロジェクトについては、具体的な内容を示してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
66	P50～ P51	「(1) “おもてなし” 態勢構築戦略」の「市全体で観光振興を推進する組織体制」と「行政・民間企業・住民が協力した観光振興の推進体制」のそれぞれの機能・役割について分かりやすく説明してもらいたい。後者の住民の協力とは、具体的にどのようなものか。例えば、民泊の提供、空き家の使用許可、道路・公園等の里親等を指しているのか。 また、それぞれの構築にあたり、4年間の検討、構築に6年間も要するのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「(1) “おもてなし” 態勢構築戦略」の〈現状・課題〉に示しているとおり、行政、民間企業、住民が連携し、人口減少などの課題を踏まえた協力体制を構築していくことが必要です。</li> <li>・ 住民の協力とは、様々な形があると考えており、御意見の民泊の提供なども含まれています。</li> <li>・ 前期の4年間を検討期間としているのは、あくまで目標であり、状況に応じて、体制の構築も進めていきます。</li> </ul>
67	P50～ P51	「具体的な取組」において「▶ 観光推進組織（DMO）の設立」と記述されているが、前ビジョンでも、「一体的な観光振興に向け、観光関係者が意見交換できる場づくりを行い、情報の集約・発信を行う仕組みを構築します。その上で、マーケティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前ビジョンと本ビジョンは、施策や課題などを引き継いでいるものもあります。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
		<p>ング、滞在コンテンツづくり、プロモーション、来訪者に対するワンストップ窓口など、岩国市の観光振興の中核を担う新たな観光推進組織を設立し、地域と来訪者、双方の満足度を高める取組を行います。」と記述されていた。</p> <p>この観光推進組織、DMOは、何故前期計画期間中に創設できなかったのかを問いたい。</p>	
68	P52～P53	<p>「航路がつながっている東京圏と沖縄県」の「航路」は、「空路」に修正すべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御指摘を踏まえ、「航路」を「空路」に修正します。</li> </ul>
69	P52～P53	<p>前ビジョンの施策例では、「○周辺地域の連携意向調査」、「○周辺地域と連携したプロモーション活動」、「○広島～宮島口～岩国のアクセス面向上」、「○外国人観光客に向けた情報発信」が挙げられている。それらの成果や進捗状況、また積み残した課題を整理し、本ビジョンとの関わりを提示してもらいたい。</p> <p>また、次期ビジョンの策定時には、本ビジョンの具体的な取組について、点検・評価し、公表することをお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> <li>前ビジョンと本ビジョンは、施策や課題などを引き継いでいるものもあります。</li> </ul>
70	P54～P55	<p>イメージ図だが、行政、観光事業者、交通・輸送事業者、新設のDMOの役割が錯綜、混乱しているように見える。例えば、「観光事業者」から「観光コンテンツの魅力向上」に矢印が向かっているが、その中には「行政」が行う「錦帯橋周辺の環境整備」が入っている。また、「支援者」とはどのような概念か不明である。「観光事業者」とは別に「事業者」があるが、それぞれどのように使い分けしているか分からない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
71	P60	<p>P60以降の観光事業者・団体ヒアリングにおいて、岩国市は相応の観光資源を有していることは共通の認識ではあるが(コンテンツ化および発信力について弱みと捉える傾向にある。</p> <p>当地においてコンテンツ化および発信力を高めるためにはクリエイター(Web、動画、コピーライティング、アニメ、ゲーム開発等)を当地で育成していく必要があると考える。岩国市において当該クリエイター創出を全面的にバックアップするとともにクラウドファンディングの活用や地元企業も含めたコンソーシアムを組成することで“観光地”としての誘因方向上に加え、地元企業の有する製品等の認知度向上などが図れるものとする。加えて全国から有望な働き手を当地に呼び寄せることにも資する施策となり得る。</p> <p>また、クリエイターの育成にあたっての初期的な取組としては国土交通省が公開している令和7年版観光白書の第1部観光の動向「何度も地域に通う旅、帰る旅等の推進」記載の事例を参考に、コンテンツ作りに興味がある、または地域への貢献意欲を有する若年層を観光客として誘致することで、地元の人との繋がりを創出する。コンテンツを通して生まれた地元との繋がりに紐づいた若年観光客が再訪するような仕組みづくりに取り組むことを期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
72	P54	<p>「観光客」から「事業者」に矢印が向かっているが、これは「体験・飲食等」としていることからお金の流れを指していると考えられる。そうではなく、「満足度等のフィードバック(評価)」を指しているのかよく分からない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
73	P54	「行政・民間企業・住民が協力した観光振興の推進体制の強化」（新設の DMO と想定）には、「観光事業者」と「支援者」から矢印が向かっているが、これは逆ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進体制の強化につながる意味での矢印の方向となっておりますが、御意見の将来的に DMO が設立された場合を踏まえ、両向きの矢印に修正します。</li> </ul>
74	P55	「具体的な取組」には、「推進体制を構築していきます。」「情報発信手法等を検討していきます。」「参加できる機会・しくみを創出します。」「二次交通の運用を検討していきます。」という文言をみると、2年程度をかければできることをこれから 10 年間もかけて組織づくり、方法づくり、仕組みづくりに取り組むということか。それぞれの作成後の活動、運用内容等について記述してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>P55 の具体的な取組は、第 4 章 1～3 の重点プロジェクトをまとめた表になります。</li> <li>ロードマップに示している取組の期間は、目標であり、状況に応じて進めていきます。</li> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
75	P55	「観光ガイド等の人材育成」については、岩国市内の中学生や高校生を対象とした、主に訪日外国人向けの岩国観光青少年ガイドクラブを創設し、岩国の歴史、文化、自然等を英語で解説できる人材を育成することを提案したい。彼らには、岩国人としてのアイデンティティの形成、異文化理解、英語の学習に寄与することになる。もちろん、学生であり、ボランティアであるから、時間が許す土日祭日のほか、春・夏・冬の休み期間の活動となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
76	-	本ビジョン策定の趣旨において「ポストコロナにおける本市の観光の目指すべき方向性を定め」と記述されていたが、ポストコロナの観光動向、潮流、観光客のニーズの変化等には全くと言っていいほど触れられていない。「ポストコロナ」という用語は必要か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>番号 19 のとおり、ポストコロナにおける観光客やニーズの変化についての項目を追加します。</li> </ul>
77	-	ワーケーションは、ポストコロナの観光スタイルの一つではないか。また、地域や地域の人々と多様かつ継続的な形で関わる人々を指す関係人口は、一面では観光客であり、もう一面では半住民として観光振興に寄与する人にもなる。このような人々を惹きつける、魅力あるまちづくりが必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
78	-	<p>錦帯橋周辺地域における観光客の滞在時間の増加、夜型観光の促進は、つまり宿泊者の増加を目指すということになる。また、歴史的なまちづくりとして、城下町地区の古民家を宿泊施設にしようという施策も展開されている。</p> <p>新しい駐車場が岩国四丁目に整備されつつあり、また岩国二丁目にも駐車場整備構想がある。これら二つの駐車場から、また建設計画がある（仮称）錦帯橋ビクターセンターから錦帯橋に徒歩で向かうには岩国一丁目を通ることになる。したがって、岩国一丁目は、多様な人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなる」空間、それも歴史的空間を官民一体で形成することが、まちの魅力向上に有効である。</p> <p>そのため、一体型滞在快適性等向上事業（通称：一体型ウォークブル事業）に取り組むことが望ましい。これは、例えば岩国一丁目にまちなかウォークブル区域を設定し、その域内の民間事業者（土地所有者等）が、市が実施する事業（公共施設の整備又は管理に関する事業）の区域に隣接又は近接する区域において、市が実施する事業と一体的に交流・滞在空間を創出する事業である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
79	-	観光客の滞在時間を増やし、夜も楽しませ、宿泊させるには、古民家民宿屋に加えて、歩きたくなる空間内に飯屋、飲み屋、風呂屋等が必要である。特に、風呂屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
		<p>の設置が重要で、できれば温泉を開発できればなお望ましい。これは、公衆浴場として、市の直轄事業として取り組んでもらいたい。</p>	
80	-	<p>横山地区にも、滞在時間を伸ばす、歩きたくなるような歴史的散歩路の整備が必要である。</p> <p>吉川家の墓所からひぐらしの道には歴代の当主及び一族の墓が 51 基立ち並んでおり、初代当主の広家の墓所には芸州浅野家の家老であった上田宗箇（武家茶道・上田宗箇流の創設者）作成のみみずくの手水鉢がある。</p> <p>このひぐらしの道は、白山比咩神社の裏側から城山花菖蒲園の上側にある日本庭園まで続いている。残念なことに、この道は、白山比咩神社の裏側の沢筋で崩れており、繋がっていないので補修が必要となっている。</p> <p>また、横山地区は、錦帯橋周辺といざない街道沿いの桜並木が素晴らしく「さくら名所100選」の一つになっている。近年では、桜の大半が老朽化しており、後継樹の育成が急務となっている。</p> <p>そのほか、二代当主の広正公が錦川の水防林として植栽した竹林が明治時代には日本三大美竹林と称されていたが、藪化荒廃しており、近年ボランティアがその整備、再生に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
81	-	<p>「錦帯橋」の世界文化遺産登録は、観光地としての知名度やブランド価値が向上し、岩国観光に大きな効果や影響を及ぼすことは間違いない。その登録が実現する時期は分からないが、この計画期間中の可能性は非常に高い。だとしたら、そのプラスの効果を高める施策と負の影響を低減する施策を準備しておくことが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
82	-	<p>異常気象により、夏期の気温の上昇は尋常ではない。夏期の観光施策として暑熱対策が必要である。公園や広場、街路等の都市空間において緑陰施設による暑熱対策を推進することが必要である。自然災害による緊急時対策、避難場所の提供等も検討しておく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>
83	-	<p>観光振興を考えるときに大きなヒントとなる、堺屋太一氏の著書「群化の構図」に記述されている「観光客を呼ぶ五大要素」を紹介しておきたい。参考になれば、幸いである。</p> <p>「では、アトラクティブスとはなにか。それには大きく分けて五つの要素があると言われている。</p> <p>第一は、ヒストリー（歴史）である。第二は、フィクション（物語性）ーフィクションという言葉より、ドイツ語でいうロマンという言葉の方がより適切かも知れないが、そういう創作物がなければならない。第三に、リズム・アンド・テイスト（音楽と味）。つまり、日常的な生活のリズムと感覚に、変化と刺激を与えることだ。第四が、ガール・アンド・ギャンブル。これはより広くスリルと偶然性への期待感といい替えてもよい。第五が、サイトシーイング（風光明媚）。もちろん、これには自然の景色だけでなく、都市美観から商品ディスプレイや街行く人々の美しさまで</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いただいた御意見につきましては、貴重な御意見として、今後の参考とさせていただきます。</li> </ul>

番号	該当頁	ご意見	市の考え方
		<p>加わるだろう。これらが、世界中の観光地で人々を引きつけている主なる要素ではあるまいか。そうしたものを開発、発掘していくことが、観光開発のポイントでなければならない。」</p>	